

科目名	キャリアデザイン3							年度	2025
英語科目名								学期	前期
学科・学年	演劇スタッフ科 2年次	必/選	必	時間数	15	単位数	1	種別※	講義
担当教員			教員の実務経験	有	実務経験の職種		舞台音楽スタッフ		
【科目の目的】 舞台スタッフとして業界で仕事をしていくうえで、ミュージカルや音芸に関わることも念頭に置き携わった公演の楽譜の解釈も大切になる。スタッフワークのスキルの幅を広げ対応力の向上を目的とする。音感を養うと共に、楽譜を読む力を養うことを学ぶ。									
【科目の概要】 舞台スタッフとして業界で活動し仕事をしていくうえで、ミュージカルや音芸に携わる機会も少なくないという観点から、舞台図面と同時に、携わった公演の楽譜の解釈も大切になる。スタッフワークのスキルの幅を広げ対応力の向上を目的とする。音感を養うと共に、楽譜を読む力を養うことを学び、楽譜に対する苦手意識を克服し、楽譜から立体的に舞台化する感覚を持てるようにする。									
【到達目標】 舞台スタッフとして業界で仕事をしていくうえで、ミュージカルや音芸に関わることも念頭に置き、リズム感、音感を養い、楽曲を聴きながら譜面を追うことができるようにする。演劇スタッフとして楽譜で示されるオーダーに応えられるスキルを身につける。この授業でえたスキルが舞台スタッフの対応力の幅と考え、その向上を目標とする。									
【授業の注意点】 スタッフの仕事と密接に関係する音楽を積極的に理解しようとする姿勢を求める。音楽鑑賞ではない。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受講することができない									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	問題なく記号を理解している		いくつかの記号の意味を理解している		理解していない				
到達目標 B	初回で楽譜を追える		複数回聞けば楽譜と符合する		楽譜が読めない				
到達目標 C	使用される楽器の音を区別して認識できている		いくつかの楽器の音を分離して聞ける		理解していない				
到達目標 D	音楽の効果を言葉で説明できる		音楽の効果を体感できる		理解していない				
到達目標 E	音楽のジャンルの違いを言葉で説明できる		音楽ジャンルの違いを雰囲気ではわかる		わからない				
【教科書】									

必要時、資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。教材、機材は教室内のものを使用する。

【参考資料】

必要時、資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。教材、機材は教室内のものを使用する。

【成績の評価方法・評価基準】

試験70%楽譜に示されている情報をどのくらい理解できているか確認する。成果発表20%理解したことをどのくらい実践できるか実施する。平常点10%積極的な授業参加度、授業態度により評価する。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		キャリアデザイン3			年度	2025
英語表記					学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価
1	自己紹介・授業概要 前半	各々の目的意識を高め、スタッフワークと音楽の関係性を共通認識として理解する				
2	自己紹介・授業概要 後半	各々の目的意識を高め、スタッフワークと音楽の関係性を共通認識として理解する				
3	楽典・楽譜を読む 音符	音符、休符、リズム、音名・ミュージカルの歴史・馴染みのあるJ-POPを楽譜で見る				
4	楽典・楽譜を読む 楽譜	音符、休符、リズム、音名・ミュージカルの歴史・馴染みのあるJ-POPを楽譜で見る				
5	楽譜・楽典を読む 反復記号	反復記号・ミュージカルの歴史・馴染みのあるJ-POPを楽譜で見る				
6	楽典・楽譜を読む 楽譜	反復記号・ミュージカルの歴史・馴染みのあるJ-POPを楽譜で見る				
7	楽典・楽譜を読む 拍子・小節線	拍子と小節線・ミュージカルの歴史・馴染みのあるJ-POPを楽譜で見る				
8	楽典・楽譜を読む 拍子・小節線	拍子と小節線・ミュージカルの歴史・馴染みのあるJ-POPを楽譜で見る				
9	楽典・楽譜を読む 強弱記号	強弱記号・ミュージカルの歴史・クラシックの楽譜を見る				
10	楽典・楽譜を読む 楽譜 クラシック	強弱記号・ミュージカルの歴史・クラシックの楽譜を見る				
11	楽典・楽譜を読む 記号について	強弱記号・ミュージカルの歴史・クラシックの楽譜を見る				
	楽典・楽譜を読む	発想記号・速度記号				

12	む 記号について	号・ミュージカルの歴史・クラシックの楽譜を見る					
13	試験の振り返り楽譜	試験を振り返り理解度を確認し、復習する					
14	試験の振り返りミュージカルの歴史	試験を振り返り理解度を確認し、復習する					
15	まとめ	前期のまとめ					
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他							
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった							
備考 等							